夕刊
常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210
編集兼印刷発行人　池田一夫

明るい町政建設に

諮問機関 常設提唱 ＝ 湯本町長候補 矢吹荘司氏

一騎打ちの湯本町長選挙は愈々明二日の投票を前に最后の追込戦に火と花を散らしているが、絶対優勢を伝えられる松本（現）候補に対し、終盤盛上りの好調を着々と上げている矢吹（元）候補の追込みは目ざましく、特に矢吹候補が主唱する

「冷めたい町政を町民のための町政にするためにも、町民各層を代表する諮問委員会を作り、町民の声に立脚した町政の運営をはかり、政治は即生活であると言う民主政治の鉄則を実現したい」

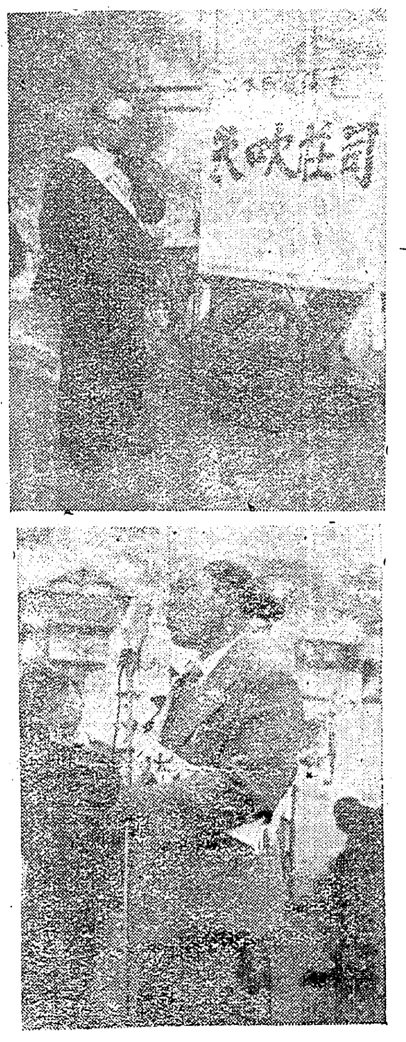
との抱負は町内の裏に到るまで大きな反響を呼び起し、かつて町長時代の矢吹氏の、身をていした温情ある町政をこの際再現しようという声が強まつて来たことは注目される

四十票位の差で

両候補正に白熱戦

特に今次町長選に当つては常磐炭砿の動向がもつとも注目され、常磐本社をめぐつていろ〳〵なデマ宣伝が試みられているも、常磐としてはその昔から政治には関与しない鉄則あり、これがため常磐は特定候補の応援はしないと言明、一方労組員の有志は自ら矢吹候補応援にケツ起し街頭に立つて真向から会社に対するデマ宣伝を粉砕するなど終盤に至つての形勢は、まつたく一変している

即ち、一万四千票のうち炭砿本砿は松本六分矢吹四分、磐城砿二千八十票は松本三分矢吹六分、一般商店街旅館など町側の六千票は松本四分矢吹六分と言う選挙通の見方で、この計算によると現況では松本派が僅か三、四十票の差で矢吹派をリードしており、残る八仙浅貝の票の動きが最後の当落を決するものとみられ、全くしのぎを削る激戦を展開しており、本当に一票一票が大事な当落の鍵だと双方とも血の出るような最後の戦いである



…写　真…

街頭で最后の舌戦を振う

（上）矢吹候補（下）松本候補

両候補は語る

街頭演説中の候補をとらいて状勢を聞いて見ると

松本候補は「充分よくなつて来たようだ、八千票の得票を数えようとすると、どうもむづかしくなつて当選出来る自信は持つているが、最初の形勢から見ると終盤に近づくに従つて苦戦であるこれでは大変と足を棒にして町の隅々まで進出しているわけです」と語り

矢吹候補は「苦戦は覚悟で立候補したのであるが、常に温い町民のための町民の役場を作りたいと言う私の生来の信念が理解され、労組の人達から青年の人達まで応援に駆けつけてくれることは誠に感謝している終盤に至つて苦戦しているので必ず温い政治を望む町民の皆様の期待に添いると言う自信がついて来た」と語つていた

御調髪には
八重椿
ポマード

無火災の・湯本・

白石団長も表彰さる

県下消防団大会は憲法記念日の五月三日喜多方町中学校で開かれるが団体、個人表彰を受ける石城郡関係は次の通り

▼無火災消防団（県知事賞）湯本町、大野村

▼消防機関賞―湯本町

▼消防団員功績章―湯本町団長白石初太郎（卅七年勤続）

▼精勤賞―大野村団長、馬上豊（卅六年）平市消防署分団長、塩儀助、司令補佐藤正巳（廿八年）

▼永年勤続者表彰―湯本町白石初太郎、上遠野上田利秋、伊藤政美、小川村松本信治、内郷町馬目大平治、名畑一美、川前村佐藤豊彦、平卜部久吉、海老原章四郎、村田与一、鈴木登

その他表彰者―白石初太郎、佐久間忠一、新妻常吉（平）小野金男（植田）岡田広三郎（大浦）上寮久翁（平）三森敏夫（湯本）加藤武久（内郷）ご並庄衛門（磐崎）吉田久和（鹿島）佐藤豊彦（川前）千葉広海（好間）高萩勝視（永戸箕輪）小林彦右衛門（泉）

○植田支部管内

上田利秋、矢渡勝正、伊藤政美、坂本正、蛭田庄司、金沢宗一、上原茂一、小沼八千代、折笠豊彦（入遠野）鴨半六油座朗、児玉忠利児玉長太郎、金成宗太郎（川部）小野文彌、緑川重次郎（田人）大井川四郎（山田）山野直寿、田口文典、蛭田恒一（勿来）

○平支部管内

卜部久吉、海老原四郎、村田与一、鈴木登（平）根本勝弘、根本庄道（川前）鈴木長一、猪狩行雄猪狩富重、高木源一郎、金成好四郎、正木一（好間）佐藤一雄（湯本）高原豊緑、山崎与平、吉田元吉（内郷）箱崎惣一郎（磐崎）木田久次郎、小松吉光、草野政記、薬谷正巳、能谷紀男（赤井）星川汐男、草野春一（小川）佐藤豊彦（川前）

▽消防団長四年以上勤続退職者表彰森合芳男（植田）白沼武諮（山田）

随想　悪地主退治

池田好範

三十米道路を延長して、問題の小名浜、平線の本幹となる事になり、地元平市としては多年の宿望を達したと喜んでいたところ土地買収で仲々困難だという最近の情報を聞いて驚いている。どうして平市の地主はその地方の発展を喜こばないのであろうかという疑問でいつぱいである

その市の発展は一に地主の理解がなければ不可能である市の将来を考え、そして数年後に来る土地の値上りを見込んで、道路やその他の公共的敷地には喜んで提供するだけの雅量がなければならぬこれは一つも土地はおろか一握りの土も持つていないわれわれだからいうのではない、所有している人々の将来を考え市の発展に協力しようという愛市の念にほかならぬ

土地で日本一高いといわれる東京銀座はその昔はキツネが泣いていたタンボであつたそれが日本一となるには道路が完成され、日本を代表する商店が生れたからである。道路なしでその市の発展は期せられない。その交通網を作るに際し二、三の地主が税金と価額の点で承知しないというにおいては、平市の発展は単に夢を描くようなものである実に残念というより致し方ない

平市の地価は実に高いというのが定評である。だから投資家は平で土地を買うよりも東京の郊外を買つて置いた方がどんなに有利であるかと謂つて東京へ金が集つているという。真実であろう。家を建てようにも工場を建てようにも、この狭い土地でしかも土地ががん迷と来ては何らの手段も講じられない。どうしてだろうか、致し方ないと放任出来ぬ重大な問題ではあるまいか

三十米道路の土地問題の決定しない理由は、競輪道路と同様に、その昔の競輪場の買収当時の事を云々して転稼しているようだけれど、当時と現在とは世相が異る、その上に重大な市の問題であるいわば公のものに対し私的な感情や情実をさしはさむ事は愚である。よろしく堂々と決定しその隘路があるらは敢然としてこれを除去することに市民一致して闘うべきである。単に地主間の問題であると不良知的な行為はつつしまねばならぬ

土地買収不可能とあれば最后の断である土地収用法も考えねばならぬ。しかしこれらの宝刀を抜かぬまでも円満にゆく道がないのだろうか。他市から問われても恥ではあるまいか

地主連は結局税金が恐ろしいという。公正な値段でしかも市の犠牲となる人々に対しいかに恐ろしい税務署でも不当な課税はしまい。この点を明かにしないから税務署の追求を受けるのだろう。土地を持てる人々はこの際一大雅量を示し、大平市のため進んで土地を提供するよう切望してやまない

溝に落ちた老人

救助した感心な二名

内郷町綴字一ノ坪三七無職芳賀建治さん(五九)は、二十九日午後九時ころ同町綴字沼尻二〇地内にさしかかつたさえ、泥酔していたため高さ三米の溝に転落、救いを求めていたところ巡回中の内郷地区区野木勝栄巡査(三二)が叫び声を聞きつけ、同字部落世話人丸浦雇員桜木弘さん(三二)、通行人の平市正月町スピーデー会社員太内弘さん(三五)の二人と協力して、部落民から梯子、ランプをかりて凍死寸前の芳賀さんを救助したもので町の話題となつており、同署では三氏を人名救助功労者として近く表彰することになつている

ダルマ寄贈

湯本の石井氏

湯本町カホルパチンコ店主石井彌さんは、高さ四尺余の大ダルマを同町役場に寄贈した、これは今度町長に当選した新町長さんに寄贈されるもので、わざく本場の高崎市に注文して作らしたもの時価約五千円といわれ、石井さんの希望ではダルマの如く円満に町政を行つてもらいたいとの念願とある

さるかだ

早くも水泳

四倉中プール開き

四倉中学校のプール開きは二十九日午前九時三十分から同校プールに同中校生男女、及び同校出身の四倉、磐高、小名水産などの先輩生徒五十余名が参加して挙行、同校水泳部主任鈴木幸太郎先生の指導で模範泳法、飛込競技などなごやかに初夏の空高く水シブキを飛ばし、県下にさきがけて浜ッ子の意気を上げた。この日水温十五度余り高い方ではなかつたが天皇誕生の良き日と折からの好天候に約三時間に亘る水泳ぎも苦にならなかつたと語り、早くも河童らの気を良くしている

小野県議自首

関内派の選挙違反事件に問われ、令状を発せられていた県会議員小野栄一(四四)はその後行方をくらましていたが、二十九日夜七時ころ植田地区署に自首した

内郷に赤痢五名

内郷町大字峰根戸炭鉱社宅小暮政雄君(一四)鈴木道雄ちゃん(二)藤道はるさん(五三)海原霧勝ちゃん(七)園部ミツさん(三三)の五名は三十日の検便結果赤痢保菌者と判明同町隔離病舎に隔離した

小倉最中
平田町
みよし　電691

紳士用・婦人用
調製と
修理の店
中央通り
電1168番
深谷靴店

平専門店会加盟一周年記念
懸賞募集
正解者一五名様に（ひかり座）
御招待
正解者多数の節は抽籤にて決定のこと
問題
①平専門店会会員店は何軒か
②本年（春）の特賞懸御招待の行先は何処か
③当店ウインド内の五ツの花は
どこの国の国花でしょうか
④只今当店の街頭放送宣伝中の商品名御使用
目的
⑤此の広告を掲載した新聞名その他
〆切期日　五月二十五日の消印あるものまで
申込方法　「官製ハガキ」解答の外、住所、氏名、
年令、職業、記載（正当）して御送附下さい
発表日　五月二十九日当店当紙上
申込所　平市田町
あこう薬局
懸賞係

祝
メーデー
市内各飲食店に於いては労働祭を祝し
湯茶を無料奉仕致しますから御遠慮なく御利用下さい
昭和二十八年四月廿九日
平市飲食店組合

◆◆◆
自転車
自動車
オートバイ
一時預り
平市田町一番地
マサゴヤ

キリン生ビール
アイスクリーム　の店
近日開店致します
女店員数名募集致します
雪印
平和通り
マル井
電一三二一番

5月のメモ

空に躍るのぼり

食膳を賑わす「海の幸」

五月雨香う五月。青空にヘンポンとひるがえる男の節句。いよ〱スポーツの春とあつて、野球に庭球に若人らの春はいよいよやつてくる。山の幸、海の幸も豊富に食膳を賑わし食通の春でもある

▼一日メーデー、平工校庭に集合して市内をデモ行進する
▼二日　八十八夜
〃　湯本町長選挙投票日
▼三日磐高落成を記念して、常磐地区の中等学校野球大会（磐高球場）
〃　憲法発布記念日
▼五日　子供の日、男の節句です
〃　高校庭球（市営コート
〃　磐高は本校舎を始めとして図書館、大講堂など完成した、これが落成祝賀会を盛大に行う
〃　県下漁業協同組合大会（平市公会堂）
〃　六日浜通り三郡町村議長会総会（内郷高校）
〃　寄席名八会（平市公会堂）
〃　立夏です
▼八日　泉町制施行祝賀町民大会、名物奴行列などあります
▼九日　平競輪
▼十日　母の日です、この日母の胸に赤いカーネーションを贈る
▼十五日　平競輪後節
▼十六日　〃
▼十七日　〃
▼二十日　草野村長選挙投票日
▼廿九日　満月

今年はこんなに仕事がある

失對工事は滿配

慎重を期す失對本部

失業対策事務所の管内今年度事業は次の三十二事業で新規事業は四倉の街路新設ほか九事業で残る事業は継続となつている（一日従業人員）

◆四倉町駅前街路樹新設、新規四月六日着工（二〇名）一ケ年
◆平、小名浜街路樹整備、新規四月二十八日着工（一〇〇名）二ケ年
◆平市小太郎町公共用地整備、継続（二〇名）一ケ年
◆平市上片寄地内村道新設、継続（五〇名）一ケ年
◆平市街路整備、新規二十九日着工（一〇名）一ケ年
◆内郷町御厩線農道新設、継続（一〇〇名）六月二十日まで
◆内郷町小野田—大山間農道新設、新規四月十日着工（一〇〇名）一ケ年
◆内郷町御渡日渡間農道継続（四〇名）一ケ年
◆内郷町鬼越農道新設、継続（六〇名）一ゲ年
◆平市上荒川農道新設、継続（八〇名）一ケ年
◆平市旧尼子地内街路樹整備、継続（五十名）六月三十日まで完成
◆内郷町上三阪道路改良、継続（一〇〇名）一ケ年
◆内郷町井田木線道路改良、継続（五〇名）六月完成
◆平市仲塩村道新設、新規四月二十一日着工（一ケ年）
◆湯本町道路改良、継続（九五名）一ケ年
◆江名湯本間道路改良、継続（八〇）二ケ年
◆磐崎村林道新設、新規二十日着工（二十五名）二ゲ年
◆好間村河川改良工事、継続（一二〇名）五ケ年
◆上三阪平間道路改良、継続（六〇名）二ケ年
◆小川郷平間道路改良—継続（九〇名）八月完成
◆赤井村河川改良、継続（四〇名）一テ年
◆川部村農道新設、継続（二〇名）六月完成
◆川部村道路整備、継続（二〇名）一ケ年
◆勿来、錦町街路整備、継続（八〇名）六月完成
◆勿来町村道新設、新規（三〇名）二ケ年
◆山田村河川改良、継続（五〇名）二ケ年
◆山田村上山田溜池新設、継続（三〇名）八月完成
◆小山溜池新設、新規（二〇名）六月完成
◆上遠野村村道新設、継続（三〇名）一ケ年
◆小小名浜町街路樹整備、継続（四〇名）一ケ年
◆泉町街路新設新規七月着工（二〇名）二ケ年
◆草野村河川改良、継続（二〇名）三ケ年

植樹祭

林業功労者も表彰

平市の植樹祭は三十日三十米累路南端のグリーンベルト地帯で挙行国土緑化と独立一周年を記念して市長、議長など関係名士多数の手でユツカ樹を植樹、続いて午前十一時から公会堂日本間で緑化功労者次の十一氏を表彰した

▼奥地造林功労者緑化委会長賞酒井銀造（八幡小路）同大谷要次郎（新町）
▼街路樹愛護者推進委長賞久野和平（三丁目）大塚鳳三郎（三丁目）
▼植林功労者森林組長賞福田庄三（中平窪）同新妻利平次（下片寄）坂本一郎（上荒川）
▼林道開設功労者市長賞矢吹平一（中塩）同吉田甚之助（中塩）同木田源宗（下平窪）小野久四郎（下平窪）

乳牛の普及

市で奨励金

平市では酪農工場誘致の施策として乳牛の普及を計画し導入資金として政府資金割当を申請すると共に希望農家の受付けを開始した、導入者は五月十日まで市農務課に申込むよう望んでいる

堅坑に転落

二十九日午后一時ころ上遠野村東海炭砿坑内で作業中の採炭夫志賀政義さん（四三）は、あやまつて堅坑に転落頭部を強打して生命危篤

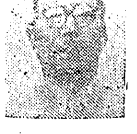
「泉」の奴まつり

町制実施の祝賀（八日）

泉町、町制施行祝賀の記念行事は五月八日予算二百万円を投じて盛大に挙行することになつた。泉町は去る四月一日付で町制が施行されたものであるが、折からの衆、参選挙に持ち込まれたので、記念行事も延びのびになつていたもので町を挙げての多彩な催しは早くも各方面に話題と期待を呼んでいる　特に十七年振りで復活する渡辺村釜士の諏訪神社の奴祭りもこの泉町制祝賀の八日を中心に七、八、九の三日間繰りひろげられるので未曽有の人出も予想され国鉄当局の好意でこの期間は臨時列車の運転計画も進められている

泉小ＰＴＡ

佐藤氏会長に



佐藤会長

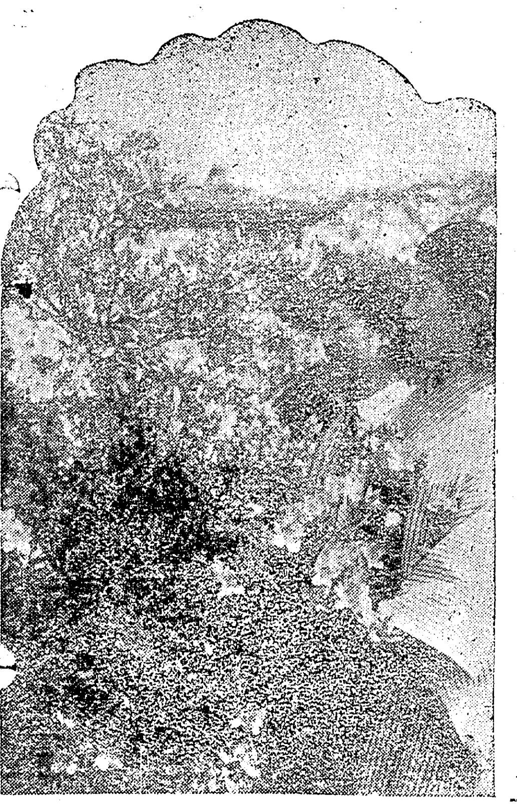
泉小学校ではこのほどＰＴＡ総会を開き、役員の改選を行つた結果会長に佐藤楢兵エ氏が再選された　氏は二十六年から会長に推されその間町議、土木委員、農協理事鮫川土地改良理事、区長などの要職にあり、激職のかたわらＰＴＡのためにも努力している

江名町の三十周年

二日に祝賀会

江名町では大正十二年三月一日町制を施行してから、丁度三十周年に相当するので来る二日次の通り記念行事を行う

▼故初代町長中山元治氏公徳碑除幕式午前九時役場前にて
▼物故したる町制施行当時の町会議員三役及び歴代町村長の追悼式江名の眞福寺で
▼祝賀式は午后一時から江名漁業協同組合会議室で行う



公園のつつじ

松カ岡公園の名物つつじも、きのうきょうの暖かさのため三分咲き

◇

待ちこがれている人々は、早くもこの「つつじ」見物に押しかけて賑いを見せている

◇

今年は手入れもよいので、例年以上の花が咲くだろうと予想され、五日の子供の日あたりが八分咲き、十日の日曜日が満開ということらしい

◇

写真はチラホラ咲いた松カ岡公園のつつじです

小名浜ＰＴＡ総まくり②

（門馬氏の巻）

第二中は、一昨年夏新築された町立校でそ・場所が高校中での高台で、眺望からいうとけだしその右に出るものがないと自慢もの。同時にＰＴＡ会も恐らくは、第一という折紙付である。会長の門馬忠男（四三）氏は本町横町に生れた、生粋の小名浜人である処に、強味がある。商売からいうと歯科医である、浜の医業普通医でも歯科医でも漁船が入港すればとても忙しい。其忙中でしかも教育方面の第二中ＰＴＡ会長として学校側の施行せんとする事業に先んじて協力する、校庭整備のためには地ならし、植樹から、教育上の内容の装備なども会長は会員を督励してその目的を必ずやりとげる。貫徹せねば止まぬという気はくを示している　校長佐藤氏は、門馬会長を慈父の如く畏敬して、学校の問題では大小となく相談を持ちかけて協力を需むるというに対して、唯の一度でもこれをけつた事がないという珍らしさを示している　第二中学校は新築早々でその設備は何一つ整つていない。門馬会長の協力によつて一挙にして、完備の域に推進しようとする気構いを暗々裏に実現せしめようとする会長の底力を発揮しようとの構想は近く実現するだろう。君の再就任を心から喜ばれているのも偶然ではあるまい（Ｎ記者）

目と耳

内郷町ではこのほど常用ハイヤー購入についての町協議会を開き、協議した結果町として常用車が必要かどうか、必要とすれば高級車を購入すべきではないかと意見賛否説で議場は騒然、結局必要がないという反対論が強く結論出ず流会となり町としては常用ハイヤー購入しないよう決定した

矢吹医院

寿しの　みしま　[illegible]　915

割烹　潮月　平電一〇七三

春のセーター　毛糸は専門の　新物　多数入荷　平銀座　ハシモトヤで　TEL.14

預金と無尽　株式会社　大東相互銀行　平市大町・電110.378

牛めし　支那そばは　花扇　平局裏通り

染物　ナガオカ　平市南町電六九四

むぎとろ　割烹さつき　電八二二

カメラと材料は・・・　飯田カメラ店　平市一丁目電一三六五

コロムビアラジオ　特約店　日東商会　[illegible]

洋服は　高島屋　平市二丁目

皆様の御要望に応じ　小型貨物車を増車致しました
御用命をお待して居ります
連絡は電話一八七番を御利用下さい
一般貸切貨物車東京—平間定期便
運転手募集　委細面談
磐城貨物自動車株式会社　平営業所　電話一八七番

江戸前寿し　利洋食各種
アサヒビール　一立チヨツキ二杯に付映画観覧券一枚サービス
[illegible]

問……この霜降牛肉でこの価額では安い？
答……本場より活牛で移入して直売するからね？
良品販売に優る商略なし
牛豚肉問屋　合名会社　緑屋　本店　一丁目　電五三九番　支店　中央通　電七九四番

畜犬一般診療　遠近に不拘往診いたします　御愛犬の飼育上の御相談に応じます
矢ケ崎犬猫醫院　平市向鎌田　電（呼）二二七五番

みつ豆　生そば　寿し　出前迅速　食事のデパート　不二屋　電八八六

産室増設、附添不要　鈴木助産所　平市田町五一（電七八八）　助産　鈴木ミエ

写真に勝る肖像画は　菊水画房